

千葉県立 八千代高等学校 のパン作りを通じた地域貢献による高校づくり ～やちパンプロジェクト～



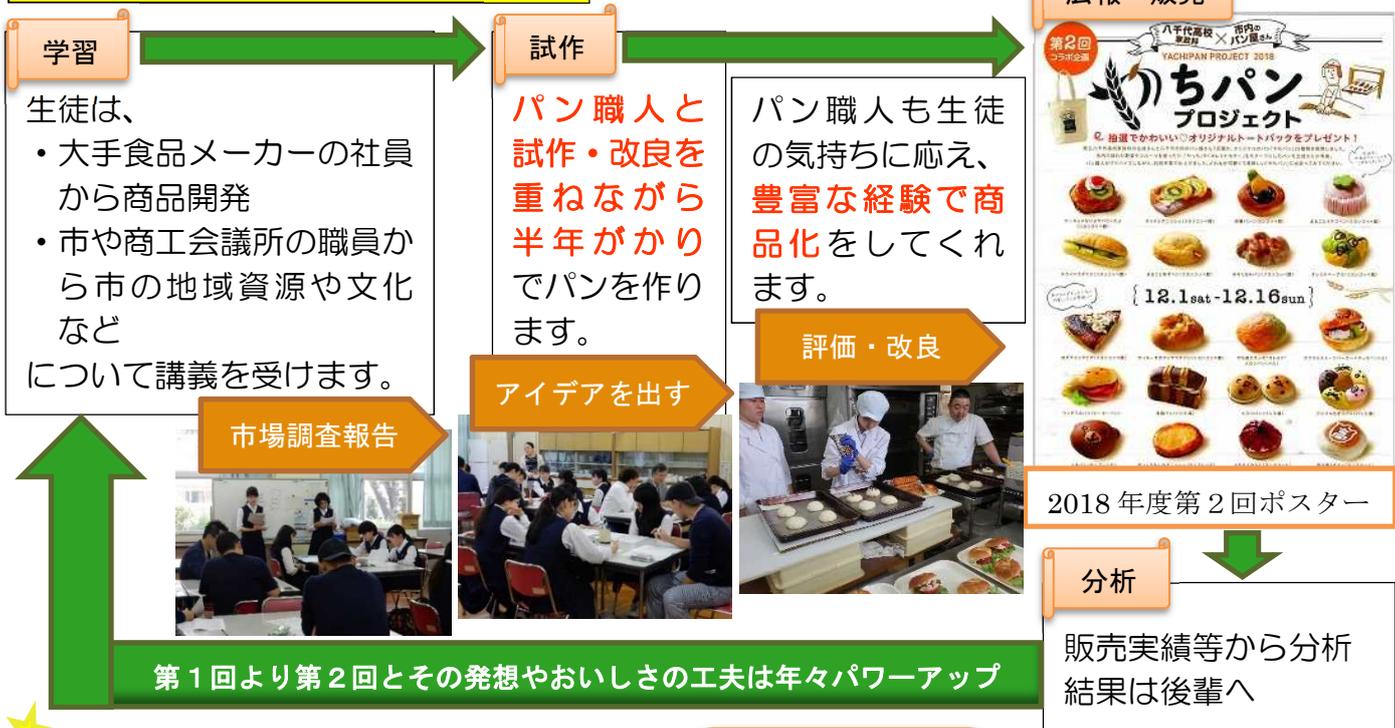
2017年度第1回ポスター

「やちパンプロジェクト」とは
家政科生徒が、八千代市内のパン職人とともに
オリジナルパンを考案・販売するプロジェクト



厚生労働省から地域の産業振興や技術者育成
で特色ある取組を紹介する
2018年度「地域発！いいもの」に選定

○「やちパンプロジェクト」のサイクル



○「やちパンプロジェクト」の実績

- 第1回（2017年度） 6,500個完売
- 第2回（2018年度） 7,500個完売

第3回（2019年度）生徒とパン職人の熱い思いで今年も完売を目指しています。

生徒が2年間で考案したパンは計33種類。
ほっぺがこぼれ落ちそうになるほどのフルーツ盛り沢山のおいしいパンや八千代高の校章をあしらった「君の第2ボタン」という名前をつけたパンなど斬新な発想で地域を大いに盛り上げています。

校章 君の第2ボタン

アイデアが形になることで達成感があった（生徒の声）

八千代市や八千代高校への愛が詰まったパンを「どうぞ、めしあがれ！！」

千葉県立八千代高等学校のパン作りを通じた地域貢献による高校づくり
～やちパンプロジェクト～

千葉県立八千代高等学校

本校には、家政科、普通科、体育科の3つの科があります。それぞれに特徴を持ち、それぞれ活躍する場を持っており、生徒が自分で製作した洋服を着て披露する「ファッションショー」や1年中緑鮮やかな人工芝グラウンドで行う体育行事、保護者も一緒に大声を張り上げて応援する「部活動」など紹介したい取組が多数ありますが、今回「魅力ある県立学校づくり大賞」で紹介するのは「やちパンプロジェクト」です。

「やちパンプロジェクト」とは、家政科で調理を選択している生徒が、八千代市内のパン職人とともにオリジナルパンを考案・販売するプロジェクトです。八千代市と八千代商工会議所による産学官協同ネットワーク事業の一環として2017年度から始まりました。

そして、このプロジェクトは、厚生労働省から地域の産業振興や技術者育成で特色ある取組として2018年度「地域発！いいもの」に選定されました。

さて、生徒が考案したパンが商品になるまでには、大手食品メーカーの社員から商品開発、市や商工会議所の職員から市の地域資源や文化などについて講義を受け、市場調査等を行い、地域で採れる野菜や果物を取り入れるなどアイデアを出し、パン職人と試作・改良を重ねながら半年かかります。

半年かかって完成したパンは市内のベーカリーで12月に期間限定で販売され、第1回（2017年度）は、6,500個、第2回（2018年度）は7,500個がいずれも2週間で完売しました。生徒が2年間で考案したパンは計33種類あり、ほっぺがこぼれ落ちそうになるほどのフルーツ盛り沢山のおいしいパンや食べて合格祈願！受験生に大人気だった八千代高校の「校章」をあしらった「君の第2ボタン」という名前をつけたパンなど斬新な発想で地域を大いに盛り上げてきました。

このプロジェクトを通して、生徒はアイデアが形になることで達成感を得たり、アイデアをパン職人に説明するため、細かい部分まで描かれた絵や丁寧な説明などの工夫をすることでプレゼンテーション力が高まったりしており、それらは普段の授業にもさらに自信を持って取りくむ「力」となっています。

第3回の今年度についてですが、令和元年11月30日から同12月15日までの約2週間、販売し、各ベーカリーには多くの方が訪れていました。今年の販売実績は、現在集計中ですが、あまりに好評のため、販売期間終了後も通常販売しなければならなくなったパンもあるほど、盛り上がっています。

今年のパンにも、八千代市や八千代高校への愛をぎっしり詰めました。おいしくめしあがっていただけましたでしょうか。

今後も地域と連携して最高のパンを作り、皆様に届けるために、ますます「やちパンプロジェクト」を発展させていきます。

「パンの街」八千代としてアピールできるように、、、